

## 【Actian Zen / PSQL】バージョン毎の機能比較表

Actian Zen / PSQL のバージョン毎に対応している機能を確認できます。

主な機能	PSQL				Zen		
	v6.15~v9	v10	v11	v12	v13	v14	v15
<b>旧バージョンとの互換性</b> 信頼性の高いデータの移行を実現	○	○	○	○	○	○	○
<b>ページ圧縮</b> データアクセスを最適化。読み込み / 書き込み処理を高速化		○	○	○	○	○	○
<b>最大 4TB「キャッシュ割り当てサイズ」</b> 64 ビット製品でのメモリ増加によって、パフォーマンスが向上		○	○	○	○	○	○
<b>Windows パフォーマンス モニター用のパフォーマンス カウンター</b> データベースエンジンの状態や動作を測定、パフォーマンスを分析			○	○	○	○	○
<b>仮想マシンのライブマイグレーションへの対応</b> Microsoft Hyper-V、VMware vSphere および Citrix XenServer で使用可能			△	○	○	○	○
<b>業務運用中のデータベース自動最適化</b> システムを停止することなく、データベースのパフォーマンスを自動的に維持 <a href="#">詳細はこちら</a>				○	○	○	○
<b>SQL インターフェイス Unicode 対応</b> リレーショナルデータタイプに、NCHAR、NVARCHAR、NLONGVARCHAR を追加。ODBC、JDBC、および ADO.NET インターフェイスが Unicode に対応				○	○	○	○
<b>ライセンス認証時のマシン名のみ検証</b> 認証ではマシン名のみ使用され、ハードウェア構成を自由に変更することが可能				○	○	○	○
<b>Windows (64ビット) 用の JDBC と JCL への対応</b> Btrieve と SQL 系の 64ビット Java インタフェースを提供				○	○	○	○
<b>Btrieve 2 API による最新のプログラミング言語のサポート</b> よりシンプルになったオブジェクト指向の Btrieve 新 C/C++ インターフェイス。C#、Javascript、Perl、PHP、Python 等アクセスのために SWIG ラッパーも提供 <a href="#">詳細はこちら</a>					○	○	○
<b>エッジコンピューティング用の Edge Server エディション</b> エッジコンピューティング市場向け、ARM、Intel CPU 用のサーバー製品。1~10 ユーザーまで使用可能。他のエディションと共通の SQL および Btrieve インターフェイスを提供 <a href="#">詳細はこちら (PDF)</a>					○	○	○
<b>Client Reporting Engine</b> Zen のクライアントキャッシュエンジンとリレーショナルエンジンの組み合わせにより、SQL ジョブを別のマシンにオフロードして、中央サーバーのワークロードを削減 <a href="#">詳細はこちら (PDF)</a>					○	○	○
<b>データバッファの拡大</b> 新しい BTRVEX エントリ ポイントは最大 252KB のデータバッファをサポート。単一の Btrieve オペレーションでより多くの処理を行うことで、パフォーマンスが向上					○	○	○

主な機能	PSQL				Zen		
	v6.15~v9	v10	v11	v12	v13	v14	v15
<b>最大 64TB のファイルサイズ</b> ファイルサイズの制限を 64TB に拡大。40億以上のレコード数を記録できる新 13.0ファイル形式を提供 <a href="#">詳細はこちら</a>					○	○	○
<b>JDBC 4 への対応</b> 100% Pure Java で JDBC4.0 標準をサポートする、タイプ 4 ドライバーを提供 <a href="#">詳細はこちら</a>					○	○	○
<b>RAD Studio 11 への対応</b> XE3 から 11 までの 32ビット設計時と 32ビット/64ビット PDAC 実行時のコンポーネントを提供 <a href="#">詳細はこちら</a>							○
<b>iOS / Android 対応 Zen Core エディション (無償提供)</b> アプリ内に組み込まれるライブラリエディション。Btrieve 2 と SQL インタフェース対応。他の全エディションの DB クライアントとしても使用可能 <a href="#">詳細はこちら (PDF)</a>						○	○
<b>Visual Studio 2022 対応の ADO.NET プロバイダー</b> .NET 7(.NET Core 3.1も含む)、.NET Framework 4.8、Entity Framework に対応、最新 Visual Studio 2022 と統合 <a href="#">詳細はこちら</a>							○
<b>AUTOTIMESTAMP データ型への対応</b> 自動的にナノ秒単位で現在のタイムスタンプを記録 <a href="#">詳細はこちら</a>						○	○
<b>AES 256 ビットでの暗号化</b> ディスク上のファイルを強力的に暗号化 <a href="#">詳細はこちら</a>						○	○
<b>JSON データフィルタリング</b> Btrieve Extended オペレーションによる JSON データフィルタリングのサポート <a href="#">詳細はこちら</a>						○	○
<b>Delete Extended を使用した高速一括削除</b> Get / Set Delete Extended オペレーションによる高速な複数レコードの一括削除 <a href="#">詳細はこちら</a>						○	○
<b>ファイルを閉じるまでの待ち時間</b> 全てのアプリケーションが特定のデータファイルに対して Btrieve Close コマンドを実行した後でも、DB エンジン是一定期間、そのデータファイルを OS レベルで開いたままにしておくことができるため、次の Btrieve Open コマンドのパフォーマンスが大幅に向上 <a href="#">詳細はこちら</a>							○
<b>レコード作成と更新のタイムスタンプ</b> 特定の時点以降に作成または更新されたレコードを簡単に特定 <a href="#">詳細はこちら</a>							○
<b>Windows 11 と Windows Server 2022 に対応</b> 最新版の Microsoft OS での動作を保証 <a href="#">詳細はこちら</a>							○

主な機能	PSQL				Zen		
	v6.15~v9	v10	v11	v12	v13	v14	v15
<b>Btrieve 2 API による "Go" と "Java" のサポート追加</b> オブジェクト指向のプログラミング・インターフェース Btrieve 2 API で、"Java" と "Go" をサポート <a href="#">詳細はこちら</a>							○
<b>SQL パフォーマンスの向上</b> 13.0ファイル形式のキーの新情報によって、SQL 最適化が更に強化 <a href="#">詳細はこちら</a>							○
<b>一定の時間でグループ化するための新スカラー関数</b> 新 EVERYN 関数により、一定の時間の間隔でグループ化することをサポート (InfluxDBのGROUP BY TIME と同様) <a href="#">詳細はこちら</a>							○
<b>インストール時の製品構成カスタマイズ</b> テキストファイルの編集を行うだけで、エンジンの設定変更が可能 <a href="#">詳細はこちら</a>							○
<b>BLOB および CLOB ストレージのための新 Btrieve 2 クラス</b> 新 Btrieve 2 API クラスを用いれば、BLOB および CLOB データの入力/取得が簡単 <a href="#">詳細はこちら</a>							○

△:v11 の仮想マシンのライブマイグレーションへの対応は、Vx Server エディションのみとなります。

(参考)サポートサービスについて

主なサービス	PSQL				Zen		
	v6.15~v9	v10	v11	v12	v13	v14	v15
<b>フルサポートの提供</b> 製品アップデートや修正プログラムなどの提供を含む、無償のサポートサービス <a href="#">詳細はこちら</a> <a href="#">サポートサービスの有効期間はこちら</a>						○	○

※ 各 OS への対応状況についてはこちらを参照ください。

<https://www.agtech.co.jp/actian/support/reference/#supportOS>

※ システム要件についてはこちらを参照ください。

<https://www.agtech.co.jp/actian/product/#point07>



株式会社エージーテック

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 1-21-1  
 ヒューリック神田橋ビル 3F

お問い合わせ先: <https://www.agtech.co.jp/contact/>